

歯科医学総合講義 4

4 年次 通年	授業科目責任者：4 年次学年教育主任
学習の目標 (GIO)	社会の要請に応える創造性と人間性豊かで自律する全人的な歯科医師となるため、これまで講義や実習で学んだ内容を統合し、松戸歯学部の student doctor として必要な態度・知識・技能を修得する。
授業担当者	【歯内療法学】松島 潔,【保健医療政策学】笹井 啓史,【口腔病理学】宇都宮忠彦,【化学】城座映明,【内科】大口純人,【歯科矯正学】榎本 豊,【有床義歯補綴学】伊藤 誠康,【障害者歯科学】林 佐智代,【歯科総合診療学】岡本康裕,【歯周治療学】吉野祥一,【歯科臨床検査医学】布施 恵,【小児歯科学】岡本 京,【顎顔面外科学】原 正浩,【口腔顎顔面インプラント学】北川 剛至,【公衆予防歯科学】田口千恵子
教科書	2, 3 および 4 年次の各科目で使用した教科書を使用する。
参考図書	2, 3 および 4 年次の各科目で使用した参考図書を使用する。
実習器材	1 年次に使用したノート PC を毎時間持参すること。
評価方法 (EV)	歯科医学総合講義 4 の定期試験は医学系大学間共用試験実施評価機構が実施する共用試験を用いる。以下の 2 つの基準を満たすこと 共用試験で、CBT (知識評価) と OSCE (技能・態度評価) のいずれもが 65 点 (%) 以上であること。 平常試験の平均が、60 点 (%) 以上であること。
学生へのメッセージ オフィスアワー	1. 1 ~ 4 年次までに学習した自然科学分野, 基礎医学分野, 臨床歯科医学分野の知識を, 基礎から臨床に向けて知識を整理しながら統合していくことを目的とします。 2. 9 つのユニットに分け, 試験 理解できてない領域を自己評価 自学自習 解説を繰り返します。また, 自学自習で理解できなかった事項や解説のほしい事項を少人数制講義で取り上げますので, 自学自習中に授業で取り上げてほしい事項を明示すること。 3. 少人数制講義は 50 分で 5 つの内容を同時に行い, 3 時間で 3 回繰り返しますので, 5 つの講義のうち 3 つを受講することができます。 4. 定期試験 (共用試験) 以外の試験は, すべて形成評価 (自己評価をするフィードバックのための試験で, 合格のための評価に加えません) です。 5. 理解の不足している部分を分析する能力を養い, 自学自習の態度をに見つけ, 学習する環境を整えることで, 次年度に学習する臨床実習の成果を大きくすることができます。 6. 歯科医学総合講義 4 の学習の範囲は 1 ~ 4 年次をすべて含むので, このシラバスに記載しきれないため, 4 年次の始まりに詳細なシラバスを配布します。この講義は後期からであるが, 前期のうちから今まで学習した内容を復習しておくこと。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 (SBOs) (LS)・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4 月 10 日 (水) 13:00 ~ 14:30	ガイダンス (歯科医学総合講義 4 について)	【準備学習項目】 歯科医学総合講義 4 を受講するに当たりの注意事項 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること 【講義】302 教室 学習の取り組み方 歯科医学総合講義 4 の授業の進め方 歯科医学総合講義 4 の学習範囲 自学自習の徹底 共用試験の概要 共用試験の実際	松島潔 笹井啓史 宇都宮忠彦 城座映明 大口純人 榎本豊 伊藤誠康 林佐智代 岡本康裕 吉野祥一 布施恵 岡本京 原正浩 北川剛至 田口千恵子
4 月 17 日 (水) 13:00 ~ 14:30	細胞の構造と機能 生命を構成する基本物質	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-1-3) 【講義】302 教室 細胞膜、核および細胞内小器官の構造と機能を説明できる。 細胞の分泌と吸収機構を説明できる。 細胞周期と細胞分裂を説明できる。 細胞死 (壊死とアポトーシス) の基本的機序を説明できる。 アミノ酸とタンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。 糖質の構造、機能および代謝を説明できる。 脂質の構造、機能および代謝を説明できる。 生体内におけるエネルギー利用を説明できる。 酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。 <C-1-1), C-1-3)>	城座映明

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月24日(水) 13:00 ~ 14:30	遺伝子と遺伝 細胞のコミュニケーション	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 (C-1-2), (C-1-4) 【講義】302 教室 遺伝子(染色体)の構造とセントラルドグマを説明できる。 DNA複製と修復の機序を説明できる。 転写と転写調節の機序を説明できる。 翻訳の機序を説明できる。 遺伝性疾患の発生の機序を説明できる。 細胞の接着装置、細胞間と細胞・マトリックス間の接着分子を説明できる。 受容体を介するホルモン、成長因子、サイトカイン等による細胞間、細胞内の情報伝達機構を概説できる。 主な細胞外マトリックス分子の構造と機能を説明できる。 <(C-1-2), (C-1-4)>	城座映明
5月8日(水) 13:00 ~ 14:30	個体発生、器官発生 身体を構成する組織、器官 組織(上皮組織、結合組織、筋組織)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 (C-2-2), (C-2-3) 【講義】302 教室 個体発生と器官発生を概説できる。 上皮を形態的および機能的に分類できる。 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 腺を分泌物の性状、形態および分泌機構に基づいて分類できる。 結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。 硝子軟骨、弾性軟骨および線維軟骨の特徴を説明できる。 内軟骨性骨化と膜内骨化の機序と成長様式を説明できる。 硬組織石灰化の基本的機序を説明できる。 筋組織の構造と機能を説明できる。 <(C-2-2), (C-2-3)>	鈴木久仁博
5月15日(水) 13:00 ~ 14:30	平常試験 1-	【筆記試験】302 教室 4/17, 4/24, 5/8 講義範囲	松島潔
5月22日(水) 13:00 ~ 14:30	身体を構成する組織、器官(解剖学) 運動器系(特に頭頸部)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 (C-2-3)-(2) 【講義】302 教室 生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。(頭頸部) 骨の基本構造と結合様式を説明できる。(頭頸部) <(C-2-3)-(2)>	近藤信太郎 松野昌展
5月29日(水) 13:00 ~ 14:30	身体を構成する組織、器官(解剖学) 循環器系(特に頭頸部)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 (C-2-3)-(3), (C-2-3)-(5) 【講義】302 教室 主な動脈と静脈を列挙できる。(頭頸部) 脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。(頭頸部) 脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。 <(C-2-3)-(3), (C-2-3)-(5)>	近藤信太郎 松野昌展
6月5日(水) 13:00 ~ 14:30	身体を構成する組織、器官(生理学) 運動器系 循環器系 感覚器系	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 (C-2-3)-(2), (C-2-3)-(3), (C-2-3)-(4) 【講義】302 教室 骨の改造現象と全身および局所因子による調節機構を概説できる。 血液循環と血管運動、血圧の調節機構を説明できる。 皮膚感覚器の構造と機能を説明できる。 深部感覚の受容器の構造と機能を説明できる。 視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。 嗅覚器、味覚器の構造と機能を説明できる。 <(C-2-3)-(2), (C-2-3)-(3), (C-2-3)-(4)>	吉垣純子 加藤治 福島美和子

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月12日(水) 13:00～14:30	身体を構成する組織、器官(生理学) 神経系 内分泌系	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3)-(5), C-2-3)-(8)</p> <p>【講義】302教室 末梢神経系の機能分類(体性神経系と自律神経系)を説明できる。 交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。 【主要な自律機能(呼吸、循環、体温)の調節中枢の働きを含む。】 血液脳関門を説明できる。 反射、半自動運動、随意運動の発現と調節の機序を説明できる。 ニューロンとグリアの構造と機能を説明できる。 神経の活動電位の発生とその伝播の機序を説明できる。 シナプスにおける興奮伝達を概説できる。 神経伝達物質の種類と機能を説明できる。 各内分泌器の構造と機能およびホルモンを説明できる。 <C-2-3)-(5), C-2-3)-(8)></p>	吉垣純子 加藤治 福島美和子
6月19日(水) 13:00～14:30	平常試験1-	<p>【筆記試験】302教室 5/22, 5/29, 6/5, 6/12 講義範囲</p>	松島潔
6月26日(水) 13:00～14:30	身体を構成する組織、器官 血液、造血器、リンパ性器	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3))</p> <p>【講義】302教室 リンパ性組織とリンパ性器を説明できる。 造血器を説明できる。 赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。 止血と血液凝固の機序を説明できる。 <C-2-3)></p>	吉垣純子 加藤治 福島美和子
7月3日(水) 13:00～14:30	感染	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-3-1)</p> <p>【講義】302教室 細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 清潔と不潔の区分および滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法を説明できる。 化学療法の目的、原理、作用機序および薬剤耐性機序を説明できる。 新興・再興感染症について説明できる。 <C-3-1)></p>	高田和子
7月10日(水) 13:00～14:30	免疫	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-3-2)</p> <p>【講義】302教室 自然免疫と獲得免疫について説明できる。 細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。 免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。 アレルギーの分類を説明できる。 免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。 ワクチンの意義と問題点を説明できる。 <C-3-2)></p>	落合智子 小林良喜

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月17日(水) 13:00 ~ 14:30	薬物と医薬品 薬理作用 薬物の適用と体内動態	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-5-1),C-5-2),C-5-3)</p> <p>【講義】302 教室 医薬品の分類を説明できる。 毒薬、劇薬および麻薬等の表示と保管を説明できる。 日本薬局方を説明できる。 薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。 薬理作用の基本形式と分類を説明できる。 薬物の作用機序を説明できる。 薬理作用を規定する要因(用量と反応、感受性)を説明できる。 薬物の連用の影響(薬物耐性、蓄積および薬物依存)を説明できる。 薬物の併用(協力作用、拮抗作用、相互作用)を説明できる。 薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)を説明できる。 <C-5-1),C-5-2),C-5-3)></p>	松本裕子
7月24日(水) 13:00 ~ 14:30	素材と器械・器具の所要性質	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1)</p> <p>【講義】302 教室 高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。 生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。 歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。 <D-1></p>	谷本安浩
9月11日(水) 13:00 ~ 14:30	平常試験 1-	<p>【筆記試験】302 教室 6/26, 7/3, 7/10, 7/17, 7/24 講義範囲</p>	松島潔
9月30日(月) 10:40 ~ 12:10	1. 顎運動とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-2)- 歯列と咬合について説明できる。 E-2-2)- 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 E-2-1)- 頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 E-2-1)- 咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 E-2-1)- 顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-1)- 下顎の随意運動の基本を説明できる。 E-2-1)- 下顎反射の機序を説明できる。 E-2-1)- 嚥下の機序を説明できる。 E-3-4)-(3)- 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 E-3-4)-(3)- 下顎運動の記録法を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患(外傷、脱臼、顎関節症、顎関節強直症)を概説できる。 C-2-3)-(2)- 骨の基本構造と結合様式を説明できる。 C-2-3)-(2)- 骨格筋の構造と機能を説明できる。</p>	松島潔 宇都宮忠彦 大口純人 伊藤誠康 岡本康裕 布施恵 原正浩 田口千恵子 笹井啓史 城座映明 榎本豊 林佐智代 吉野祥一 岡本京 北川剛至

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(S B O s)(L S)・準備学習(予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9月30日(月) 13:00 ~ 14:30	1. 顎運動とその疾患	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 【講義】302 教室 E-2-2)- 歯列と咬合について説明できる。 E-2-2)- 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 E-2-1)- 頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 E-2-1)- 咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 E-2-1)- 顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-1)- 下顎の随意運動の基本を説明できる。 E-2-1)- 下顎反射の機序を説明できる。 E-2-1)- 嚥下の機序を説明できる。 E-3-4)-(3)- 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 E-3-4)-(3)- 下顎運動の記録法を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患(外傷、脱臼、顎関節症、顎関節強直症)を概説できる。 C-2-3)-(2)- 骨の基本構造と結合様式を説明できる。 C-2-3)-(2)- 骨格筋の構造と機能を説明できる。	同上
10月1日(火) 13:00 ~ 14:30	1. 顎運動とその疾患	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 【講義】302 教室 E-2-2)- 歯列と咬合について説明できる。 E-2-2)- 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 E-2-1)- 頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 E-2-1)- 咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 E-2-1)- 顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-1)- 下顎の随意運動の基本を説明できる。 E-2-1)- 下顎反射の機序を説明できる。 E-2-1)- 嚥下の機序を説明できる。 E-3-4)-(3)- 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 E-3-4)-(3)- 下顎運動の記録法を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患(外傷、脱臼、顎関節症、顎関節強直症)を概説できる。 C-2-3)-(2)- 骨の基本構造と結合様式を説明できる。 C-2-3)-(2)- 骨格筋の構造と機能を説明できる。	同上
10月2日(水) 10:40 ~ 12:10	1. 顎運動とその疾患	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 【講義】302 教室 E-2-2)- 歯列と咬合について説明できる。 E-2-2)- 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 E-2-1)- 頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 E-2-1)- 咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 E-2-1)- 顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-1)- 下顎の随意運動の基本を説明できる。 E-2-1)- 下顎反射の機序を説明できる。 E-2-1)- 嚥下の機序を説明できる。 E-3-4)-(3)- 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 E-3-4)-(3)- 下顎運動の記録法を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患(外傷、脱臼、顎関節症、顎関節強直症)を概説できる。 C-2-3)-(2)- 骨の基本構造と結合様式を説明できる。 C-2-3)-(2)- 骨格筋の構造と機能を説明できる。	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月3日(木)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>1. 顎運動とその疾患</p>	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-2)- 歯列と咬合について説明できる。 E-2-2)- 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 E-2-1)- 頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 E-2-1)- 咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 E-2-1)- 顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-1)- 下顎の随意運動の基本を説明できる。 E-2-1)- 下顎反射の機序を説明できる。 E-2-1)- 嚥下の機序を説明できる。 E-3-4)-(3)- 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 E-3-4)-(3)- 下顎運動の記録法を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(4)- 顎関節疾患(外傷、脱臼、顎関節症、顎関節強直症)を概説できる。 C-2-3)-(2)- 骨の基本構造と結合様式を説明できる。 C-2-3)-(2)- 骨格筋の構造と機能を説明できる。</p>	<p>同上</p>
<p>10月7日(月)</p> <p>10:40 ~ 12:10</p>	<p>平常試験 2-</p>	<p>【PCで試験】302 教室 顎運動とその疾患</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	<p>同上</p>
<p>10月7日(月)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>2. 炎症・痛みとその疾患</p>	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p>【講義】302 教室 C-4-4)- 炎症の定義を説明できる。 C-4-4)- 炎症細胞の種類と働きを説明できる。 C-4-4)- 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的变化を説明できる。 C-4-4)- 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。 C-4-6)- 疼痛の種類を説明できる。 C-4-6)- 疼痛の発生機序を説明できる E-2-1)- 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 E-2-4)-(2)- 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 E-2-4)-(2)- 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周治療の術式と適応症を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p>	<p>同上</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(S B O s)(L S)・準備学習(予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月8日(火)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>2. 炎症・痛みとその疾患</p>	<p>【準備学習項目】302 教室 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p>【講義】</p> <p>C-4-4)- 炎症の定義を説明できる。 C-4-4)- 炎症細胞の種類と働きを説明できる。 C-4-4)- 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。 C-4-4)- 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。 C-4-6)- 疼痛の種類を説明できる。 C-4-6)- 疼痛の発生機序を説明できる E-2-1)- 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 E-2-4)-(2)- 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 E-2-4)-(2)- 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周治療の術式と適応症を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p>	<p>同上</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(S B O s)(L S)・準備学習(予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月9日(水)</p> <p>10:40 ~ 12:10</p>	<p>2. 炎症・痛みとその疾患</p>	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p>【講義】302 教室 C-4-4)- 炎症の定義を説明できる。 C-4-4)- 炎症細胞の種類と働きを説明できる。 C-4-4)- 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。 C-4-4)- 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。 C-4-6)- 疼痛の種類を説明できる。 C-4-6)- 疼痛の発生機序を説明できる E-2-1)- 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 E-2-4)-(2)- 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 E-2-4)-(2)- 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周治療の術式と適応症を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p>	<p>同上</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(S B O s)(L S)・準備学習(予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月10日(木)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>2. 炎症・痛みとその疾患</p>	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p>【講義】302 教室 C-4-4)- 炎症の定義を説明できる。 C-4-4)- 炎症細胞の種類と働きを説明できる。 C-4-4)- 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。 C-4-4)- 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。 C-4-6)- 疼痛の種類を説明できる。 C-4-6)- 疼痛の発生機序を説明できる E-2-1)- 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 E-2-4)-(2)- 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 E-2-4)-(2)- 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周治療の術式と適応症を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p>	<p>同上</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(S B O s)(L S)・準備学習(予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月15日(火)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>2. 炎症・痛みとその疾患</p>	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p>【講義】302 教室 C-4-4)- 炎症の定義を説明できる。 C-4-4)- 炎症細胞の種類と働きを説明できる。 C-4-4)- 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。 C-4-4)- 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。 C-4-6)- 疼痛の種類を説明できる。 C-4-6)- 疼痛の発生機序を説明できる E-2-1)- 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 E-2-4)-(2)- 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 E-2-4)-(2)- 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周治療の術式と適応症を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p>	<p>同上</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(S B O s)(L S)・準備学習(予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月16日(水)</p> <p>10:40 ~ 12:10</p>	<p>2. 炎症・痛みとその疾患</p>	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p>【講義】302 教室 C-4-4)- 炎症の定義を説明できる。 C-4-4)- 炎症細胞の種類と働きを説明できる。 C-4-4)- 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。 C-4-4)- 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。 C-4-6)- 疼痛の種類を説明できる。 C-4-6)- 疼痛の発生機序を説明できる E-2-1)- 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 E-2-4)-(2)- 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 E-2-4)-(2)- 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周治療の術式と適応症を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p>	<p>同上</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月17日(木)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>2. 炎症・痛みとその疾患</p>	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3)</p> <p>【講義】 302 教室 C-4-4)- 炎症の定義を説明できる。 C-4-4)- 炎症細胞の種類と働きを説明できる。 C-4-4)- 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。 C-4-4)- 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。 C-4-6)- 疼痛の種類を説明できる。 C-4-6)- 疼痛の発生機序を説明できる E-2-1)- 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 E-2-4)-(2)- 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 E-2-4)-(2)- 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 E-3-3)-(2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周治療の術式と適応症を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 E-3-3)-(3)- 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p>	<p>同上</p>
<p>10月21日(月)</p> <p>10:40 ~ 12:10</p>	<p>平常試験 2-</p>	<p>【PCで試験】 302 教室 炎症・痛みとその疾患</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	<p>同上</p>
<p>10月21日(月)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>3. 微生物・感染・免疫とその疾患</p>	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2)</p> <p>【講義】 302 教室 E-2-4)-(2)- 歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 E-2-4)-(2)- 菌血症および歯性病巣感染の病態を説明できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全とそれらの症状を列挙できる。 E-2-4)-(7)- ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。 E-3-2)- 歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。</p>	<p>同上</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月22日(火) 13:00 ~ 14:30	3. 微生物・感染・免疫とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(2)- 歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 E-2-4)-(2)- 菌血症および歯性病巣感染の病態を説明できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全とそれらの症状を列挙できる。 E-2-4)-(7)- ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。 E-3-2)- 歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。</p>	同上
10月23日(水) 10:40 ~ 12:10	3. 微生物・感染・免疫とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(2)- 歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 E-2-4)-(2)- 菌血症および歯性病巣感染の病態を説明できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全とそれらの症状を列挙できる。 E-2-4)-(7)- ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。 E-3-2)- 歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。</p>	同上
10月24日(木) 13:00 ~ 14:30	3. 微生物・感染・免疫とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(2)- 歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 E-2-4)-(2)- 菌血症および歯性病巣感染の病態を説明できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全とそれらの症状を列挙できる。 E-2-4)-(7)- ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。 E-3-2)- 歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-2)- 口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。</p>	同上
10月28日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	<p>【PCで試験】302 教室 微生物・感染・免疫とその疾患</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	同上
10月28日(月) 13:00 ~ 14:30	4. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4)</p> <p>【講義】302 教室 D-2- 印象材の種類と性質を説明できる。 D-2- 歯科用石膏の種類と特性を説明できる。 D-2- ワックスの種類と特性を説明できる。 D-2- レジンの重合、金属の鋳造・熱処理およびポーセレン焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 D-2- 切削・研磨用材料と使用機器の特徴を説明できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月29日(火)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>4. 歯質・歯の欠損と歯科材料</p>	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4)</p> <p>【講義】302 教室 E-3-2)- 歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3)-(3)- う蝕の症状と診断を説明できる。 E-3-3)-(3)- う蝕の予防と治療の方法を説明できる。 E-3-3)-(4)- 象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断および治療法を説明できる。 E-3-4)-(1)- 歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 E-3-4)-(1)- 修復材料と修復法の種類と特徴およびその適応を説明できる。 E-3-4)-(1)- 修復法に関する模型上での基本的操作ができる。 E-3-4)-(1)- 修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 E-3-4)-(1)- 歯髄保護の種類を述べ、その重要性を説明できる。 E-3-4)-(1)- 支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。 E-3-4)-(1)- 窩洞形成と支台歯形成の意義と方法を説明できる。 E-3-4)-(1)- 仮封ならびに暫間装置の意義、種類および特徴を説明できる。 E-3-4)-(1)- 研究模型と作業模型の製作方法を説明できる。 E-3-4)-(1)- 平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 E-3-4)-(1)- 修復後の術後管理の目的と方法を説明できる。 E-3-4)-(1)- 歯の硬組織疾患の診査と検査および診断ができる。</p>	<p>同上</p>
<p>10月30日(水)</p> <p>10:40 ~ 12:10</p>	<p>4. 歯質・歯の欠損と歯科材料</p>	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4)</p> <p>【講義】302 教室 E-3-2)- 歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3)-(3)- う蝕の症状と診断を説明できる。 E-3-3)-(3)- う蝕の予防と治療の方法を説明できる。 E-3-3)-(4)- 象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断および治療法を説明できる。 E-3-4)-(1)- 歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 E-3-4)-(1)- 修復材料と修復法の種類と特徴およびその適応を説明できる。 E-3-4)-(1)- 修復法に関する模型上での基本的操作ができる。 E-3-4)-(1)- 修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 E-3-4)-(1)- 歯髄保護の種類を述べ、その重要性を説明できる。 E-3-4)-(1)- 支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。 E-3-4)-(1)- 窩洞形成と支台歯形成の意義と方法を説明できる。 E-3-4)-(1)- 仮封ならびに暫間装置の意義、種類および特徴を説明できる。 E-3-4)-(1)- 研究模型と作業模型の製作方法を説明できる。 E-3-4)-(1)- 平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 E-3-4)-(1)- 修復後の術後管理の目的と方法を説明できる。 E-3-4)-(1)- 歯の硬組織疾患の診査と検査および診断ができる。</p>	<p>同上</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(S B O s)(L S)・準備学習(予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
<p>10月31日(木)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>4. 歯質・歯の欠損と歯科材料</p>	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4)</p> <p>【講義】302教室 E-3-4)-(2)- 橋義歯の意義と具備条件を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の種類と特徴を説明できる E-3-4)-(2)- 支台装置とボンティックの選択、特徴および製作法を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯における支台歯形成の方法を説明できる。 E-3-4)-(2)- リテーナーの意義を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の製作に必要な材料の特性と各基本的操作を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯製作のための咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の維持管理の目的と方法を説明できる。 E-3-4)-(2)- フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。E-3-4)-(2)- 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の設計を適切にできる。 E-3-4)-(2)- 支台装置の製作過程における基本的手技ができる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。</p>	<p>同上</p>
<p>11月5日(火)</p> <p>13:00 ~ 14:30</p>	<p>4. 歯質・歯の欠損と歯科材料</p>	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4)</p> <p>【講義】302教室 E-3-4)-(2)- 橋義歯の意義と具備条件を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の種類と特徴を説明できる E-3-4)-(2)- 支台装置とボンティックの選択、特徴および製作法を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯における支台歯形成の方法を説明できる。 E-3-4)-(2)- リテーナーの意義を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の製作に必要な材料の特性と各基本的操作を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯製作のための咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の維持管理の目的と方法を説明できる。 E-3-4)-(2)- フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。E-3-4)-(2)- 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の設計を適切にできる。 E-3-4)-(2)- 支台装置の製作過程における基本的手技ができる。 E-3-4)-(2)- 橋義歯の装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。</p>	<p>同上</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月6日(水) 10:40 ~ 12:10	4. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4)</p> <p>【講義】302 教室 E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。 E-3-4)-(3)- 即時義歯の目的と意義を説明できる E-3-4)-(3)- 治療用義歯の目的と意義を説明できる。 E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の構成要素を説明できる。 E-3-4)-(3)- 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 E-3-4)-(3)- 下顎運動の記録法を説明できる。 E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。 E-3-4)-(3)- 可撤性義歯の調整、リライニング、リベースおよび修理を説明でき、適切に行うことができる E-3-4)-(3)- 可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。</p>	同上
11月7日(木) 13:00 ~ 14:30	4. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4)</p> <p>【講義】302 教室 E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。 E-3-4)-(2)- 即時義歯の目的と意義を説明できる E-3-4)-(2)- 治療用義歯の目的と意義を説明できる。 E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の構成要素を説明できる。 E-3-4)-(2)- 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 E-3-4)-(2)- 下顎運動の記録法を説明できる。 E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。 E-3-4)-(2)- 可撤性義歯の調整、リライニング、リベースおよび修理を説明でき、適切に行うことができる E-3-4)-(2)- 可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。 E-3-4)-(3) デンタルインプラントの種類、特徴、目的および意義を説明できる。 E-3-4)-(3) デンタルインプラントの基本構造を説明できる。</p>	同上
11月11日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	<p>【PCで試験】302 教室 歯質・歯の欠損と歯科材料</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月11日(月) 13:00 ~ 14:30	5.代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4)</p> <p>【講義】302教室 C-4-3)- 虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 C-4-3)- 出血の原因、種類および転帰を説明できる。 C-4-3)- 血栓症の形態学、成因と条件および転帰を説明できる。 C-4-3)- 塞栓症について塞栓の運ばれる経路、塞栓の種類および転帰を説明できる C-4-3)- 梗塞の種類、形態および転帰を説明できる。 C-4-3)- 浮腫の原因とその転帰を説明できる。 C-4-3)- ショックの原因と成因を説明できる。 C-5-4)- 薬物の一般的副作用、有害作用と口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。</p>	同上
11月12日(火) 13:00 ~ 14:30	5.代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4)</p> <p>【講義】302教室 E-1-3)-(1)- バイタルサインを列挙し、説明できる。 E-1-3)-(1)- 血圧を測定できる。 E-1-3)-(1)- 脈拍の状態を把握できる。 E-1-3)-(1)- 呼吸の状態を把握できる。 E-1-3)-(1)- 歯科治療中の全身状態に影響を及ぼす疾患を説明できる。 E-1-3)-(1)- 歯科治療時に留意すべき服用薬物を説明できる。 E-1-3)-(1)- 小児、妊婦および高齢者への薬物適用上の注意を説明できる。 E-1-3)-(1)- 全身疾患を有する患者への薬物適用上の注意を説明できる。 E-1-3)-(2)- 精神鎮静法の目的を説明できる。 E-1-3)-(2)- 吸入鎮静法の適応と禁忌を説明できる。 E-1-3)-(2)- 静脈内鎮静法の適応と禁忌を説明できる。 E-1-3)-(2)- 精神鎮静法の種類を説明できる。</p>	同上
11月13日(水) 10:40 ~ 12:10	5.代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4)</p> <p>【講義】302教室 E-1-3)-(3)- 局所麻酔の目的を説明できる。 E-1-3)-(3)- 局所麻酔薬を分類し、その作用機序を説明できる。 E-1-3)-(3)- 局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。 E-1-3)-(3)- 血管収縮薬の種類と特徴を説明できる。 E-1-3)-(3)- 局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。 E-1-3)-(3)- 局所麻酔時の合併症を説明できる。 E-1-3)-(4)- 全身麻酔の目的を説明できる。 E-1-3)-(4)- 全身麻酔の適応と禁忌を説明できる。 E-1-3)-(4)- 全身麻酔法の種類と特徴を説明できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(S B O s)(L S)・準備学習(予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月14日(木) 13:00 ~ 14:30	5. 代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4)</p> <p>【講義】302 教室 E-1-5)- 意識レベル、呼吸および脈拍の状態を把握できる。 E-1-5)- 気道閉塞および気道確保法を説明できる。 E-1-5)- 呼気吹き込みによる人工呼吸を説明できる。 E-1-5)- 非開胸心マッサージを説明できる。 E-1-5)- 救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序を説明できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患(貧血、出血性素因、白血病)とスクリーニング検査法を列挙できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を列挙できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。 E-4-6) 代表的な医科疾患(内科的疾患)を説明できる。 E-4-6) 主要な医科疾患の症候を説明できる。 E-4-6) 主要な身体診察を説明できる。 E-4-6) 妊娠時の管理に必要な基礎知識を説明できる。 E-4-6) 小児の代表的な疾患を説明できる。</p>	同上
11月18日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	<p>【PC で試験】302 教室 代謝・薬物動態・全身疾患と歯科治療</p> <p>各自、PC を用意すること(LAN ケーブルも忘れずに)</p>	同上
11月18日(月) 13:00 ~ 14:30	6. 口腔領域の疾患(外傷)・画像検査・放射線	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-1-2)- 放射線の種類と性質を説明できる。 E-1-2)- 放射線の人体への影響を説明できる。 E-1-2)- 放射線防護の基準と方法を説明できる。 E-1-2)- エックス線画像の形成原理を説明できる。 E-1-2)- エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 E-1-2)- 口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。 E-1-2)- 口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。 E-1-2)- 頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。 E-1-2)- 超音波装置、エックス線CT および磁気共鳴撮像装置を用いた検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	同上
11月19日(火) 13:00 ~ 14:30	6. 口腔領域の疾患(外傷)・画像検査・放射線	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-1-2)- 放射線の種類と性質を説明できる。 E-1-2)- 放射線の人体への影響を説明できる。 E-1-2)- 放射線防護の基準と方法を説明できる。 E-1-2)- エックス線画像の形成原理を説明できる。 E-1-2)- エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 E-1-2)- 口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。 E-1-2)- 口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。 E-1-2)- 頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。 E-1-2)- 超音波装置、エックス線CT および磁気共鳴撮像装置を用いた検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月20日(水) 10:40 ~ 12:10	6. 口腔領域の疾患(外傷)・画像検査・放射線	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(1)- 一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 E-2-4)-(1)- 歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。 E-2-4)-(1)- 外傷時の検査法を列挙できる。 E-2-4)-(1)- 歯の外傷の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。 E-2-4)-(1)- 歯槽骨骨折、上顎骨骨折および下顎骨骨折の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。 E-2-4)-(1)- 骨折の治療原則を説明できる。 E-2-4)-(1)- 軟組織損傷を分類し、それぞれの症状と処置法を説明できる。</p>	同上
11月21日(木) 13:00 ~ 14:30	6. 口腔領域の疾患(外傷)・画像検査・放射線	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(1)- 一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 E-2-4)-(1)- 歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。 E-2-4)-(1)- 外傷時の検査法を列挙できる。 E-2-4)-(1)- 歯の外傷の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。 E-2-4)-(1)- 歯槽骨骨折、上顎骨骨折および下顎骨骨折の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。 E-2-4)-(1)- 骨折の治療原則を説明できる。 E-2-4)-(1)- 軟組織損傷を分類し、それぞれの症状と処置法を説明できる。</p>	同上
11月25日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	<p>【PCで試験】302 教室 口腔領域の疾患(外傷)・画像検査・放射線</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	同上
11月25日(月) 13:00 ~ 14:30	7. 口腔領域の疾患(炎症・嚢胞)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 E-4-2)- 小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。 E-2-4)-(3)- 顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を概説できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月26日(火) 13:00 ~ 14:30	7. 口腔領域の疾患(炎症・嚢胞)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 E-4-2)- 小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。 E-2-4)-(3)- 顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を概説できる。</p>	同上
11月27日(水) 10:40 ~ 12:10	7. 口腔領域の疾患(炎症・嚢胞)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 E-4-2)- 小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。 E-2-4)-(3)- 顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を概説できる。</p>	同上
11月28日(木) 13:00 ~ 14:30	7. 口腔領域の疾患(炎症・嚢胞)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(2)- 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4)-(7)- 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 E-4-2)- 小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。 E-2-4)-(3)- 顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を概説できる。</p>	同上
12月2日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	<p>【PCで試験】302 教室 口腔領域の疾患(炎症・嚢胞)</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月2日(月) 13:00 ~ 14:30	8. 口腔領域の疾患(腫瘍) 小手術の基本手技 救急処置	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4)</p> <p>【講義】302 教室 C-4-5)- 腫瘍の定義を説明できる。 C-4-5)- 腫瘍の組織発生を説明できる。 C-4-5)- 異形成、退形成および分化を説明できる。 C-4-5)- 腫瘍の異型性と多形性を説明できる。 C-4-5)- 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 C-4-5)- 局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。</p>	同上
12月3日(火) 13:00 ~ 14:30	8. 口腔領域の疾患(腫瘍) 小手術の基本手技 救急処置	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(3)- 歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 非歯源性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法(組織診、画像診断)および治療法を概説できる。 E-2-4)-(3)- エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を概説できる。 E-2-4)-(3)- 前癌病変(白板症、紅板症)の特徴、症状および治療法を概説できる。 E-2-4)-(3)- 前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を概説できる。 E-2-4)-(3)- 腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- エプーリスの特徴、症状および治療法を概説できる。</p>	同上
12月4日(水) 10:40 ~ 12:10	8. 口腔領域の疾患(腫瘍) 小手術の基本手技 救急処置	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-4)-(3)- 歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 非歯源性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法(組織診、画像診断)および治療法を概説できる。 E-2-4)-(3)- エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を概説できる。 E-2-4)-(3)- 前癌病変(白板症、紅板症)の特徴、症状および治療法を概説できる。 E-2-4)-(3)- 前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- 口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を概説できる。 E-2-4)-(3)- 腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。 E-2-4)-(3)- エプーリスの特徴、症状および治療法を概説できる。</p>	同上
12月5日(木) 13:00 ~ 14:30	8. 口腔領域の疾患(腫瘍) 小手術の基本手技 救急処置	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 E-1-4), E-1-5)</p> <p>【講義】302 教室 E-1-4) 抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。 【相対的禁忌への対応および小手術の適応症と禁忌を含む。】 E-1-4) 小手術の合併症(偶発症)を説明できる。 E-1-4) 抜歯(小手術)に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。 E-1-4) 粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。 E-1-4) 縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。 E-1-4) 手指と術野の消毒について説明できる。 E-1-4) 清潔と不潔の区別を説明できる。 E-1-4) 器具の滅菌、消毒について説明できる。 E-1-5) 歯科治療時の全身合併症(偶発症)を説明できる。 E-1-5) 意識レベル、呼吸および脈拍の状態を把握できる。 E-1-5) 気道閉塞および気道確保法を説明できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月9日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	【PCで試験】302教室 炎症・痛みとその疾患 各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)	同上
12月9日(月) 13:00 ~ 14:30	8. 口腔領域の疾患 (唾液腺疾患・粘膜疾患等)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5, E-2-2),4) 【講義】302教室 E-2-2)- 唾液腺の構造と機能を説明できる。 E-2-4)-(5)- 唾石症の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(5)- 流行性耳下腺炎の原因ウイルス、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- Sjögren 症候群の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- 小唾液腺疾患を概説できる。 E-2-4)-(2)- 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。 E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(6)- 顔面神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明できる。	同上
12月10日(火) 13:00 ~ 14:30	8. 口腔領域の疾患 (唾液腺疾患・粘膜疾患等)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5, E-2-2),4) 【講義】302教室 E-2-2)- 唾液腺の構造と機能を説明できる。 E-2-4)-(5)- 唾石症の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(5)- 流行性耳下腺炎の原因ウイルス、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- Sjögren 症候群の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- 小唾液腺疾患を概説できる。 E-2-4)-(2)- 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。 E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(6)- 顔面神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明できる。	同上
12月11日(水) 10:40 ~ 12:10	8. 口腔領域の疾患 (唾液腺疾患・粘膜疾患等)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5, E-2-2),4) 【講義】302教室 E-2-2)- 唾液腺の構造と機能を説明できる。 E-2-4)-(5)- 唾石症の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(5)- 流行性耳下腺炎の原因ウイルス、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- Sjögren 症候群の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- 小唾液腺疾患を概説できる。 E-2-4)-(2)- 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。 E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(6)- 顔面神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明できる。	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月12日(木) 13:00 ~ 14:30	8. 口腔領域の疾患 (唾液腺疾患・粘膜疾患等)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4)</p> <p>【講義】302 教室 E-2-2)- 唾液腺の構造と機能を説明できる。 E-2-4)-(5)- 唾石症の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(5)- 流行性耳下腺炎の原因ウイルス、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- Sjogren 症候群の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(5)- 小唾液腺疾患を概説できる。 E-2-4)-(2)- 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(2)- 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。 E-2-4)-(6)- 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 E-2-4)-(6)- 顔面神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明できる。</p>	同上
12月16日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	<p>【PC で試験】302 教室 炎症・痛みとその疾患</p> <p>各自、PC を用意すること(LAN ケーブルも忘れずに)</p>	同上
12月16日(月) 13:00 ~ 14:30	10. 基本的事項	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-7</p> <p>【講義】302 教室 A-1- 患者の権利を説明できる。 A-1- 患者の自己決定権を説明できる。 A-1- 患者が自己決定ができない場合の対応を説明できる。</p>	同上
12月17日(火) 13:00 ~ 14:30	10. 基本的事項	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-7</p> <p>【講義】302 教室 A-2- 医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 A-2- 医の倫理に関する規範・国際規範(ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言)を概説できる。 A-2- 生と死に関わる倫理的問題を説明できる。</p>	同上
12月18日(水) 10:40 ~ 12:10	10. 基本的事項	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-7</p> <p>【講義】302 教室 A-3- 歯科医師の法的義務を列挙できる。 A-4- インフォームドコンセントの定義と重要性を説明できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月19日(木) 13:00 ~ 14:30	10. 基本的事項	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-7</p> <p>【講義】302 教室 A-5-1)- 歯科医療における事故の特異性を説明できる。 A-5-1)- 実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。 A-5-1)- 医療上の事故等を防止するには、個人の注意力はもとより組織的なリスク管理が重要であることを説明できる。 A-5-1)- 医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録改竄の違法性について説明できる。 A-5-1)- 医療機関における安全管理体制(事故報告書、ヒヤリハット報告、リスク管理者、事故防止委員会、事故調査委員会等)を概説できる。 A-5-2)- 医療事故と医療過誤の違いを説明できる。 A-5-2)- 医療上の事故等(ヒヤリハット、アクシデント、医療過誤等を含む)の事例の原因を分析し、防止対策を説明できる。 A-5-2)- 医療上の事故等(ヒヤリハット、アクシデント、医療過誤等を含む)が発生した時の緊急処置や記録、報告について説明できる。 A-5-2)- 医療過誤に関連して歯科医師に科せられた社会的責任と罰則規定(行政処分、民事責任、刑事責任、司法解剖)の基本的事項を説明できる。 A-5-2)- 基本的予防策(ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセーフ・フルブルーフの考え方など)について概説できる。</p>	同上
12月21日(土) 10:40 ~ 12:10	10. 基本的事項	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-7</p> <p>【講義】302 教室 A-5-3)- 医療従事者の健康管理の重要性を説明できる。 A-5-3)- 標準予防策(Standard Precautions)の必要性を説明できる。 A-5-3)- 患者隔離の必要な場合について説明できる。 A-5-3)- 針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。</p>	同上
12月21日(土) 13:00 ~ 14:30	10. 基本的事項	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-7</p> <p>【講義】302 教室 A-7-1)- コミュニケーションの目的と技法を説明できる。 A-7-1)- 信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 A-7-2)- 医療面接の役割を説明できる。 A-7-2)- 必要に応じて、他の医療機関への適切な紹介を行うための手続きを説明できる。 A-7-2)- 患者のプライバシーに配慮できる。 A-7-2)- 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱ができる。 A-7-3)- 医療チームのメンバーの役割と連携を説明できる。 A-7-3)- 保健・医療・福祉の連携を理解し、歯科医師の役割を説明できる。</p>	同上
12月24日(火) 13:00 ~ 14:30	平常試験 2-	<p>【PCで試験】302 教室 炎症・痛みとその疾患</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	同上
1月8日(水) 10:40 ~ 12:10	11. 口腔衛生・関連法規	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3)</p> <p>【講義】302 教室 B-1- 健康の概念を説明できる B-1- 口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-1- 疾病の概念、種類および予防を概説できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月9日(木) 13:00 ~ 14:30	11. 口腔衛生・関連法規	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3)</p> <p>【講義】302 教室 B-2-1)- 歯科医師法を概説できる。 B-2-1)- 医療法を概説できる。 B-2-1)- 歯科衛生士法と歯科技工士法を概説できる。 B-2-1)- 医師法、薬剤師法および保健師助産師看護師法を概説できる。 B-2-2)- 保健・医療制度を説明できる。 B-2-2)- 医療保険制度を説明できる。</p>	同上
1月14日(火) 13:00 ~ 14:30	11. 口腔衛生・関連法規	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3)</p> <p>【講義】302 教室 B-2-2)- 介護保険制度を説明できる。 B-2-2)- 社会福祉制度を説明できる。 B-2-2)- 高齢者のおかれた社会環境を説明できる。 B-2-2)- 障害者のおかれた社会環境を説明できる。 B-2-2)- ノーマライゼーションの考え方を説明できる。 B-2-2)- 地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。 B-2-2)- 地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。 B-2-2)- 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。 B-2-3)- 環境による健康への影響を説明できる。 B-2-3)- 環境基準と環境汚染を説明できる。</p>	同上
1月15日(水) 10:40 ~ 12:10	11. 口腔衛生・関連法規	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3)</p> <p>【講義】302 教室 B-3-1)- 第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 B-3-1)- プロフェッショナルケア、セルフケアおよびコミュニティケアを説明できる。 B-3-1)- プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。 B-3-2)- 主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる B-3-2)- う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。 B-3-2)- ライフステージにおける予防を説明できる。 B-3-2)- 集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。</p>	同上
1月16日(木) 13:00 ~ 14:30	11. 口腔衛生・関連法規	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3)</p> <p>【講義】302 教室 B-4-1)- 疫学とEBMの概念を説明できる。 B-4-1)- スクリーニング検査を説明できる。 B-4-1)- 口腔疾患の疫学的指標を説明できる。 B-4-2)- 主な保健医療統計(人口動態・静態統計、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、歯科疾患実態調査、学校保健統計調査)を説明できる。 B-4-2)- 主な健康指標(平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率)を説明できる。 B-4-2)- 調査方法と統計的分析法を説明できる。 B-4-3)- 保健医療情報の取扱いと情報のセキュリティを説明できる。 B-4-3)- 医療情報の開示に関する注意点を説明できる。</p>	同上
1月20日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	<p>【PCで試験】302 教室 口腔衛生・関連法規</p> <p>各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(S B O s)(L S)・準備学習(予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月20日(月) 13:00 ~ 14:30	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5)</p> <p>【講義】302 教室 C-2-2)- 個体発生と器官発生を概説できる。 C-2-4)- 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E-2-3)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 E-2-3)- 一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 E-2-3)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域に症状をきたす主な先天異常を説明できる。 E-2-3)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常(不正咬合)を説明できる。 E-2-3)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。 E-2-3)- 舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 E-2-4)-(7)- 口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 E-2-4)-(7)- 顎変形症を概説できる。</p>	同上
1月21日(火) 13:00 ~ 14:30	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5)</p> <p>【講義】302 教室 C-2-2)- 個体発生と器官発生を概説できる。 C-2-4)- 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E-2-3)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 E-2-3)- 一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 E-2-3)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域に症状をきたす主な先天異常を説明できる。 E-2-3)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常(不正咬合)を説明できる。 E-2-3)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。 E-2-3)- 舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 E-2-4)-(7)- 口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 E-2-4)-(7)- 顎変形症を概説できる。</p>	同上
1月22日(水) 10:40 ~ 12:10	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5)</p> <p>【講義】302 教室 E-3-1)- 歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。 E-3-1)- 歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。 E-3-2)- 歯の発育障害と加齢変化の病因と病態を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療の目的と意義を説明できる。 E-4-1)- 正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。 E-4-1)- 不正咬合によって生じる障害を列挙できる。 E-4-1)- 不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 E-4-1)- 矯正装置の種類と用途を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療に必要な力学を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療によって起こる生体の反応を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療によって生じる医原性障害を挙げ、その処置と予防法を説明できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(S B O s)(L S)・準備学習(予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月23日(木) 13:00 ~ 14:30	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5)</p> <p>【講義】302 教室 E-3-1)- 歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。 E-3-1)- 歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。 E-3-2)- 歯の発育障害と加齢変化の病因と病態を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療の目的と意義を説明できる。 E-4-1)- 正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。 E-4-1)- 不正咬合によって生じる障害を列挙できる。 E-4-1)- 不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 E-4-1)- 矯正装置の種類と用途を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療に必要な力学を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療によって起こる生体の反応を説明できる。 E-4-1)- 矯正治療によって生じうる医原性障害を挙げ、その処置と予防法を説明できる。</p>	同上
1月27日(月) 10:40 ~ 12:10	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5)</p> <p>【講義】302 教室 E-4-2)- 小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。 E-4-2)- 乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴を説明できる。 E-4-2)- 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。 E-4-2)- 乳歯と根末完成永久歯の歯髄炎の診察、検査と診断を説明できる。 E-4-2)- 乳歯と根末完成永久歯の歯髄炎の処置法の種類と適応症、予後および手順と留意点を説明できる。 E-4-2)- 小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。 E-4-2)- 咬合誘導の概念を説明できる。 E-4-2)- 保隙処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。</p>	同上
1月27日(月) 13:00 ~ 14:30	12. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5)</p> <p>【講義】302 教室 E-4-2)- 小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。 E-4-2)- 乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴を説明できる。 E-4-2)- 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。 E-4-2)- 乳歯と根末完成永久歯の歯髄炎の診察、検査と診断を説明できる。 E-4-2)- 乳歯と根末完成永久歯の歯髄炎の処置法の種類と適応症、予後および手順と留意点を説明できる。 E-4-2)- 小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。 E-4-2)- 咬合誘導の概念を説明できる。 E-4-2)- 保隙処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月28日(火) 13:00 ~ 14:30	12. 発生・成長・加齢とその疾患	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 【講義】 302 教室 E-4-3)- 老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 E-4-3)- 老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。 E-4-3)- 高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 E-4-3)- 高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 E-4-3)- 要介護高齢者の歯科治療を説明できる。 E-4-3)- 摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。 E-4-4)- 障害者の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 E-4-4)- 障害者の行動調整(行動管理)と歯科治療を説明できる。 E-4-5)- 心身相関を説明できる。 E-4-5)- 心身症を説明できる。 E-4-5)- 口腔・頭蓋・顎顔面領域の心因性の痛みを説明できる。 E-4-5)- 心理テストを説明できる。 E-4-5)- 舌痛症を概説できる。	同上
1月29日(水) 10:40 ~ 12:10	平常試験 2-	【PCで試験】 302 教室 発生・成長・加齢とその疾患 各自、PCを用意すること(LANケーブルも忘れずに)	同上
1月29日(水) 13:00 ~ 14:30	共用試験の受験について	【講義】 302 教室 共用試験(CBT,OSCE)の受験にあたっての注意事項	同上
2月3日(月) 10:40 ~ 12:10	自学自習	今までの知識を整理すること	
2月3日(月) 13:00 ~ 14:30	自学自習	今までの知識を整理すること	
2月5日(水) 10:40 ~ 12:10	自学自習	今までの知識を整理すること	
2月6日(木) 13:00 ~ 14:30	自学自習	今までの知識を整理すること	
2月10日(月) 10:40 ~ 12:10	体験試験	【準備学習項目】 【試験(形成評価)】 302 教室集合 体験試験 LS: 411 教室	松島潔 宇都宮忠彦 大口純人 伊藤誠康 岡本康裕 布施恵 原正浩 田口千恵子 笹井啓史 城座映明 榎本豊 林佐智代 吉野祥一 岡本京 北川剛至
2月10日(月) 13:00 ~ 14:30	体験試験	【準備学習項目】 【試験(形成評価)】 302 教室集合 体験試験 LS: 411 教室	同上